

## 別記様式（第5条関係）

## 会 議 録

|          |              |                                                                                                                                                                                                      |
|----------|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会議の名称    |              | 第7回新設小学校開校準備委員会                                                                                                                                                                                      |
| 開催日時     |              | 令和8年5月20日（水）午後7時00分から<br>午後9時00分まで                                                                                                                                                                   |
| 開催場所     |              | 福津市役所別館1階大ホール                                                                                                                                                                                        |
| 委員名      |              | 出席委員 西田 剛信 仲村 浩一 佐々木 美奈<br>奥之藺 斉美 中野 隆 塚本 義孝<br>細田 浩司 安河内 友美 梅野 邦彦<br>土器 修<br>欠席委員 亀川 貴史                                                                                                             |
| 所管課職員職氏名 |              | 教育長 薄 俊哉<br>教育部長 宮原 栄介<br>理事兼主幹指導主事 原尻 敏広<br>新設小学校準備室長 波多野 哲平<br>新設小学校準備係長 鈴木 健夫 藤岡 太郎<br>新設小学校準備室 平 和英 高木 浩平                                                                                        |
| 会<br>議   | 議 題<br>(内 容) | 1. 教育長あいさつ<br>2. 委員長あいさつ<br>3. 副委員長の選出<br>4. 事務局説明<br>（1）宮司小学校（仮称）経営基本構想<br>（2）開校準備委員会 スケジュール（案）について<br>5. 協議事項<br>（1）校章について<br>（2）校歌について<br>（2）通学路について<br>6. その他<br>・ 建築工事の進捗状況について<br>・ 次回開催日程について |
|          | 公開・非公開の別     | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開                                                                                                    |
|          | 非公開の理由       |                                                                                                                                                                                                      |
|          | 傍聴者の数        | 1名                                                                                                                                                                                                   |
|          | 資料の名称        | ・ 会議次第<br>・ 校章・校歌について<br>・ 通学路について                                                                                                                                                                   |
| 会議録の作成方針 |              | <input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録                                                                                                                                                              |
|          |              | <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録                                                                                                                                                   |
|          |              | <input type="checkbox"/> 要点記録                                                                                                                                                                        |
|          |              | 記録内容の確認方法：委員長確認                                                                                                                                                                                      |
| その他の必要事項 |              |                                                                                                                                                                                                      |

審議内容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1. 教育長あいさつ  
（薄教育長があいさつを行った。）

冒頭に、榑谷委員の後任として亀川氏を委員に委嘱する予定であったが、亀川氏が欠席のため、正式な委員委嘱は行っていない。

2. 委員長あいさつ  
（西田委育長が開会のあいさつを行った。）

3. 副委員長選出  
（仲村委員を満場一致で選任。）

4. （1）学校経営基本構想について  
（事務局が説明を行った。）

事務局 教育大綱に基づく基本理念、学校教育目標、3つのC（コネクト・チャレンジ・クリエイト）、および本校独自の「宮司学」や「学年担任・教科担任制」「授業時数特例制度」についての説明を行った。

委員 「低学年は初年度学級担任を基本とする」とあるが、低学年とは何年生までを指すか。また、「特定の教科」を効率化することのことだが、具体的にどの教科を削り、何に上乗せするイメージか。

事務局 低学年は1、2年生を想定している。授業時数の特例については、国語や算数などの一部時数を効率化し、その分を「宮司学（生活科や総合的な学習の時間）」に上乗せする。ただし、学力低下を招かないことが前提であり、具体的なカリキュラム設計は今後のプロセスとなる。

委員 津屋崎小や福間小の低学年の担任制の実態はどうなっているか。

西田委員長 現在も基本は担任制だが、1組と2組の担任が国語と算数を交換して教える「交換授業」などは一部で行われている。高学年では得意分野（音楽や体育など）を分担する教科担任制も導入されている。

委員 「基本理念」と「コンセプト」に同じような言葉があり、棲み分けが分かりにくい。「コンセプト」は一つのテーマに絞られているように見えるが、新設校のあるべき姿と理解してよいか。

事務局 基本理念は福津市全体の教育大綱に則った大きな道筋であり、コンセプトは宮司小学校の目標に迫るための核となる教育活動をキーワード化したもの。解釈の棲み分けが不十分な点はあるが、新設校の理念として捉えていただいて差し支えない。

4. （2）開校準備委員会スケジュール（案）について

事務局 今後の委員会スケジュール、および調整が遅れている校章デザイン案の提出が次回（7月の第8回）へずれ込む旨の報告を行った。

副委員長 校章案の絞り込みが7月にずれ込むことで、全体のスケジュールへの影響（披露や決定時期の遅れ）はどうか。

事務局 9月に完成、12月に披露という大枠の流れに大きな影響は出ないよう調整する。

|                                                           |                                                                                                                                               |
|-----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員                                                        | 校章の決定が遅れることで、緞帳などのハードウェア制作や工期に影響はないか。緞帳の制作には時間がかかると聞いている。                                                                                     |
| 事務局                                                       | リミットとしては現実的に9月頃。仮に10～11月にずれ込んだ場合は調整が必要になるが、あらかじめ決められる部分は進めておき、校章が決定次第すぐに制作へ流せるようスケジューリングしており、開校までには必ず間に合わせる。                                  |
| 西田委員長                                                     | 緞帳の制作などは建築工期の一部に含まれているはず。本委員会としては決定した校章をスムーズにそこへ入れ込めるよう、次の機会にしっかりと打ち合わせをしたい。                                                                  |
| 5. (1) 校章について<br>(事務局が説明を行い、校章の選出は次回の開校準備委員会に実施することとなった。) |                                                                                                                                               |
| 5. (2) 校歌について<br>(事務局が説明を行った。)                            |                                                                                                                                               |
| 事務局                                                       | 薄教育長が作成した2つの作詞案を提示した。第1案は宮司の自然や情景(宮司の森、光の道、鏡の海)を重視したもの、第2案は新設校として子供たちが自ら未来を作っていく気持ち(新進気鋭、手と手を繋ぐなど)を前面に出したもの。本日はどちらか1案に絞り込む協議を行った。             |
| 委員                                                        | 両案にある「不屈(ふくつ)」という言葉について、作詞者の意図としては「屈しない心」の漢字表記になっている。しかし、耳で聞く分には「福津市」の福津とも重なる。漢字のままいくのか、ひらがなにしていイメージをファジー(柔軟)にするのか悩ましい。                       |
| 委員                                                        | 2案とも甲乙つけがたいが、どちらか選ぶなら第2案。夕日などの情景がよく浮かぶ。                                                                                                       |
| 副委員長                                                      | 第1案は「宮司」というワードが各所に多く入っている。第2案は情景が美しく思い浮かび、雰囲気が良いと感じる。主観としては第2案が好み。                                                                            |
| 委員                                                        | 私は第1案の「鏡の海に映る空」という表現に惹かれた。若い人も写真を撮りに来る場所でありイメージしやすい。ただ、学校のテーマである「挑戦」という点では第2案も分かりやすい。                                                         |
| 委員                                                        | すぐにイメージが湧き出てくるのは第2案の方だと感じる。                                                                                                                   |
| 委員                                                        | 第1案の「宮司の森」「光の道」だと神社のイメージが非常に強く限定される。第2案の「松原抜ける青い風」の方が地域を限定・分担せず、校区全体をイメージしやすい。また、基本構想にある「つながる」というキーワード(手と手をつなぎ)が入っているのも第2案だけであるため、総合的に第2案が良い。 |
| 委員                                                        | 校歌は大きくなってからも地域や子供の頃の情景を思い返すものとなる。その意味で、「屈することのない」という意味を大事にするのも有りだが、福津市立の学校であるため「福津市」の優しさも兼ね備えた表現が良い。                                          |
| 西田委員長                                                     | 歌詞のベースは「第2案」とする方向で一同賛成ということでよいか。問題は「不屈」の文字。精神としての「不屈」か、ひらがなの「ふくつ」か、あるいは市名の「福津」のどれがよいか。                                                        |
| 副委員長                                                      | 漢字にしまうと意味が固定されてしまうため、あえて「ひらがな                                                                                                                 |

委員 (ふくつ)」にして受け止め方に余白を作るのが良いのではないかと。  
 委員 どちらの意味も含めるという意味で、ひらがなが良い。  
 西田委員長 限定すると硬くなるため、ひらがなに賛成。  
 それでは委員会としては「第 2 案に決定で、かつ『ふくつ』はひらがな」という意見でまとめ、事務局から作成者（教育長）の意図を確認しつつ提案してもらう形とする。

5. (3) 通学路について  
 (事務局が説明を行った。)

事務局 各危険予測地点（A～D 地点）における警察との協議結果、およびグリーンベルト、防護柵、カラー舗装、転落防止柵などのハード面での対策（令和 8 年度～9 年度計画）を説明。特に A 地点や B 地点への押しボタン式信号・横断歩道の新設は、警察の見解（見通しの悪さ、私有地出入口の問題、事故誘発の懸念など）から設置困難との結論を報告。

委員 A 地点の横断歩道設置については、地元からも強く要望を出していたが、警察から直接「湾曲しており困難」と回答があり、グリーンベルト等の表示で決着した経緯がある。また、C 地点の高架下については、通行の邪魔になる車止めの一部撤去や、防護柵を繋げて横断場所を限定することで安全を担保する計画であり、これで納得している。

委員 西福間校区（約 500 名）の児童の動線について、海側のルートからコンビニの交差点を渡って正門へ向かうルートは想定されていないのか。分散登校にした方が安全ではないか。

事務局 当初は分散登校の考えもあった。コンビニの前まで指定線を伸ばして通学路として指定することも可能であるが、開校後、実際に登校する中で通学路が変わることもある。

委員 西福間の一部の住宅地からはコンビニ側から渡る方が近い。安全な信号付き横断歩道があるのだから、現状の通学路のラインをまっすぐ上に伸ばして正門へ入るルートを追加した方が良い。追加の方向でお願いしたい。

委員 地点 D の人道橋について、通行量調査の結果は「問題ない」という回答であるが、これは現行の調査。宮司小開校後、30 分ほどの間に 500 名が集中した際、人だまりができて誘導しきれぬのか非常に危惧している。将来の想定調査はできないか。

事務局 現状としては現在の登校状況をカウントしたデータに基づいている。開校後は距離が短くなるため家を出るタイミングが変わる可能性はあるが、見守り隊の配置（人道橋付近への配置依頼など）を含めソフト面で誘導する。開校後に実態を調査し、どうしても集中して危険な場合は、学校と協議のうえ、登校時間の分散（保護者への協力依頼）なども視野に対応を検討する。

西田委員長 福間小への通学路で非常に狭い裏通りを西福間の児童が通っている実態があり、実際に現地を見て回っているが、詰まって流れないということは現状起きていない。

委員 人道橋は、将来的な拡幅も視野に入れ、市から県へ申請を進めるべきと思う。

6. 建築工事の進捗状況について

(事務局が説明を行った。)

事務局           進捗率は 4 月末時点で 32%、5 月末で約 40%に達する見込みであり、12 月には 9 割を超え、来年 2 月中旬には完成予定である旨を伝えた。石油関連資材の供給不足に対して、場合によっては同等品での代替などで工期内に間に合わせるよう管理している。

(その他、保護者説明会を 7 月に開催することを報告した。)

#### 7. 次回開催日程について

第 8 回委員会の開催日は、追って連絡することとなった。